一般財団法人千葉陸上競技協会

第30回理事会議事録

令和元年8月10日

一般財団法人千葉陸上競技協会

代表理事：

議事録署名人：

議事録署名人：

第30回理事会

日 時 令和元年8月10日(土) 午後3時30分
会 場 千葉県総合スポーツセンター陸上競技場会議室
出席状況 出席 26名 欠席 4名 計 26/30

議事内容

- (1) 第74回国民体育大会選手選考について
- (2) 第74回国民体育大会監督選任について
- (3) 各種駅伝競走大会選手選考方法について
- (4) 各種駅伝競走大会監督選任方法について
- (5) 定款及び規定の見直しについて

報告内容

- (1) 大会概況報告
- (2) 各専門委員会報告
- (3) その他

1 開会 午後3時30分

長谷川副会長より

・理事会に先立ち、6月25日に千葉陸上競技協会 津嶋監事をご逝去された。ご冥福を祈り、黙祷を行う。

2 定数確認 (香取業務理事)

定数30 出席26名 欠席4名 計 26/30

定款第37条により、本理事会は成立。

3 会長挨拶 (宇野会長)

(要旨) 猛暑の中、第30回理事会に出席をいただき感謝する。また、暑い中、競技役員及び選手の皆さんには健康に留意していただきたい。本日は多くの議案がある。慎重な審議をお願いする。

4 議長選出

宇野代表理事より説明があった。

- ・議長選出については定款第36条により、「代表理事又は業務執行理事があたる。」とある。代表理事である私が議長を務める。

5 議事録署名人

宇野代表理事から説明があった。

- ・定款第41条により、「代表理事及び監事が記名押印する。」とある。よろしく願います。

6 議事

議案（1）第74回国民体育大会選手選考について

議案（2）第74回国民体育大会監督選任について

議長から、議案（1）議案（2）について、伊東強化委員長に説明するよう指示があった。

（伊東強化委員長）

- ・第74回国民体育大会選手選考について、選考基準に則り、茨城国体で上位入賞できる選手を選考した。詳細は別紙参照を願いたい。男子14名（成年4名、少年A6名、少年B2名、少年共通2名）、女子15名（成年5名、少年A5名、少年B2名、少年共通3名）の審議を願う。
- ・成年男子の選手が世界選手権代表選手に選ばれる可能性がある。世界選手権代表に選ばれた場合は、代替え選手の選考については強化委員会一任で願いたい。
- ・第72回国民体育大会監督選任について、男子監督は伊東謙二、女子監督は花岡麻帆である。両監督の審議を願う。

議長から、議案（1）議案（2）について質問及び意見が求められたが、特になかった。

議案（1）（2）について承認された。

議案（3）各種駅伝競走大会選手選考方法について

議案（4）各種駅伝競走大会監督選任方法について

議長から、議案（3）議案（4）について、滝田駅伝部長に説明するよう指示があった。

（滝田駅伝部長）

- ・各種駅伝競走大会選手選考方法について、東日本女子駅伝選手選考会は9月7日（土）、全国都道府県男子駅伝並びに女子駅伝選手選考会は11月30日（土）、それぞれの選考会の選考基準をもとに選手選考する。選考した選手については、千葉陸上競技協会に報告し、承認を得る。

- ・各種駅伝競走大会監督選任方法について、強化委員会駅伝部から千葉陸上競技協会の承認を得た後に、監督・コーチを決定する。以上について審議を願う。

議長から、議案（３）議案（４）について質問及び意見が求められたが、特になかった。
議案（３）（４）について承認された。

議案（５）定款及び規定の見直しについて

議長から、議案（５）について、香取常務理事に説明するよう指示があった。

（香取常務理事）

- ・定款及び見直しについての流れを説明する。「定款及び規定検討準備委員会」を立ち上げる。準備委員は次の通りである。

- 1 木内俊秀（専務理事）
- 2 香取憲吾（常務理事）
- 3 市東和代（総務委員長）
- 4 伊藤信夫（競技運営委員長）
- 5 伊東謙二（強化委員長）
- 6 松本 健（施設用器具委員長）
- 7 岩脇充司（総務委員会記録情報部長）
- 8 長谷川弘之（総務委員会法制部長）
- 9 岡野 寛（総務委員会庶務部長）
- 10 中村吉光（事務局）

- ・各理事より、別紙「定款・規定検討事項調査用紙」を提出していただく。その後、準備委員会で集約し作業に入る。以上の流れについて審議を願う。

議長から、議案（５）について質問及び意見が求められたが、特になかった。
議案（５）について承認された。

7 報告事項

報告事項（１）大会概況報告

議長から香取常務理事に指示があり、別紙参照にて報告をする。

（１）大会概況報告（香取常務理事）

- ・令和元年度前期概況として、記録会、高校記録会、県選手権、六大学対抗戦、小学生大会、クラブ対抗の大会がある。多くの大会で審判不足が見られる。
- ・施設についてはセンターとの話し合いのもと、様々な点で改善されている。

報告事項（２）専門委員会より

議長から各専門委員長等に指示があり、委員会ごとに各委員長が説明をした。

総務委員会（市東委員長）

- ・陸協便りの作成を進めている。
- ・定款を含めた千葉陸上競技協会要覧の見直しを始める。

競技運営委員会（伊藤委員長）

- ・前期の大会、課題は多少あるが無事に終了することができ感謝する。
- ・本で行われている国体最終選考会の審判出席率は良い状況である。

強化委員会（伊東委員長）

- ・国体は天皇杯獲得に向けて、強化活動を進めていく。また道路競技もこれから大会が続く。協力を願う。
- ・今年度、第1陸上競技場で都道府県対抗駅伝競走等の選手選考会を行う。
- ・県強化費用の使い方については柔軟な対応ができる。

施設用器具委員会（松本委員長）

- ・2020アクアラインマラソンに向けて、実行委員会が始まる。
- ・競技場検定を今年度も予定している。
- ・関東新人大会に向けて、高体連と連携し、用器具の運搬など準備を進めている。

高体連（香取委員長）

- ・令和元年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会、本県の結果は男子10種目入賞（優勝1種目含む）、女子8種目入賞である。学校別対抗では市立船橋高校が女子3位入賞である。都道府県別対抗では、男子が3位、女子が7位である。詳細は別紙参照を願う。
- ・10月に東総運動公園陸上競技場で関東新人陸上競技大会が行われる。用器具を含め、大会運営の準備を進めている。

中体連（舟橋委員長）

- ・欠席の為、特になし。

学連（越川理事）

- ・欠席の為、特になし。

マスターズ（鈴木理事）

- ・ 8月3日千葉マスターズ選手権が行われる。大会運営にあたり、千葉陸上競技協会の協力に感謝をする。

事務局（香取常務理事）

- ・ 役員改正に伴う新役員の登記は7月5日に完了した。

議長から、各委員会報告について質問及び意見が求められた。

質問（畠中理事）

- ・ 公認審判証を提示せず競技場内に入場する審判がいる。改善できないものか。

回答（伊藤競技運営委員長）

- ・ 公認審判証は必ず持っている。今後提示するよう指導をする。

意見（中村理事）

- ・ 審判の心得として、審判証は必ず提示し、審判を行うよう徹底すべきである。

報告事項（3）その他

- ・ 特になし。

8 その他

以上ですべての議事・報告については終了である。

9 閉会

宇野会長から閉会が宣言された。

午後4時35分 閉会